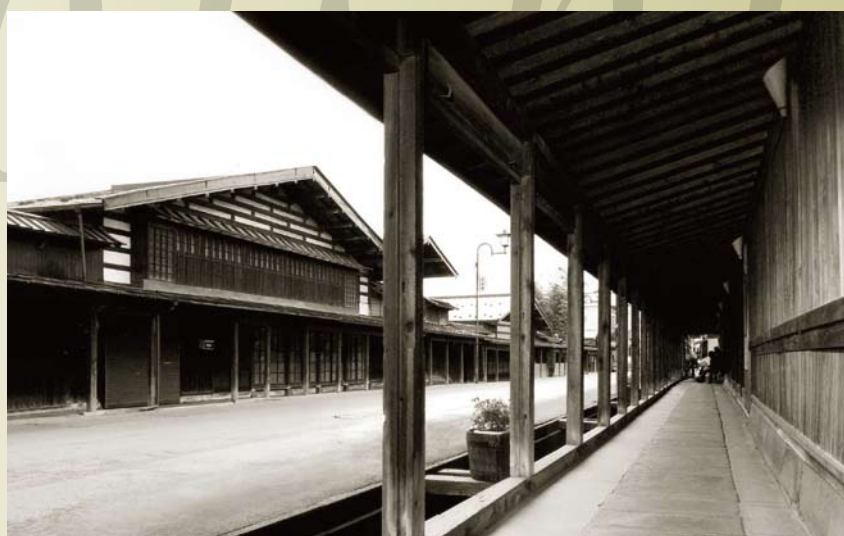




黒石市 都市計画 マスタープラン

AOIMORI
KUROISHI



概要版

黒石市

平成 22 年 4 月

1. 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランは、本市の将来像を実現していくために必要となる、都市計画に関する基本的な方針です。

本計画では、まちづくりの将来ビジョンを確立するとともに、都市計画に関わる具体的かつ総合的な整備方針を定めることを目的としており、都市計画区域が指定されている全ての市町村において策定することが必要となっています。

これからのまちづくりは、多様化するニーズに対応しながら、地域特性を踏まえた独自性のある計画としていく必要があります。

この「黒石市都市計画マスタープラン」では、住民の意見を取り入れながら、実効性の高い計画づくりを目指します。

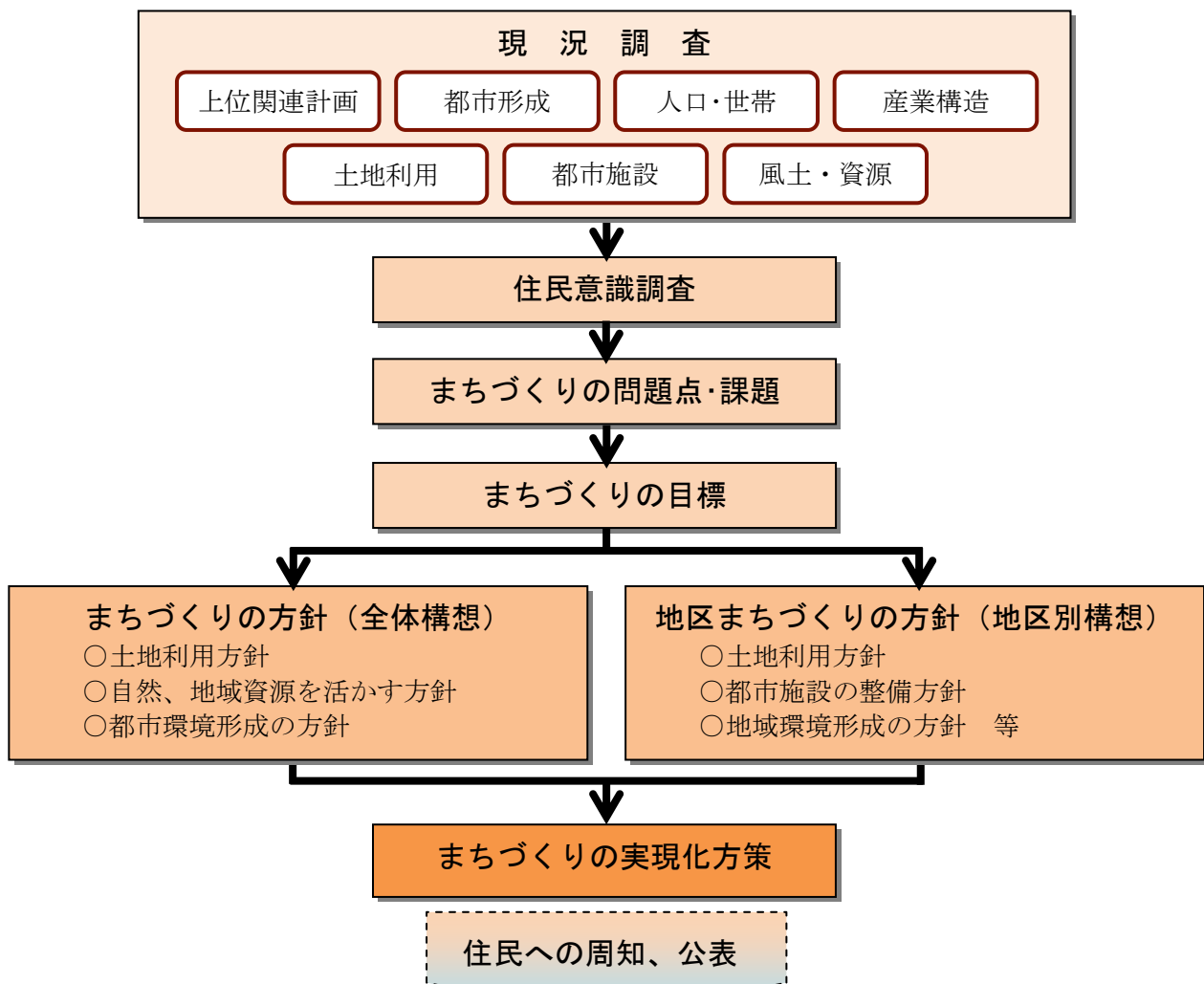
目標年次

本計画の計画期間は、概ね20年間とし、目標年次は平成40年とします。

なお、本計画は、今後の社会・経済の変化や住民ニーズの変化に対応して、随時、計画の見直しや充実を図り、まちづくりの指針としての性格を維持していきます。

都市計画マスタープランの構成

本計画策定の流れは、次のとおりです。



黒石市都市計画マスタープラン

2. まちづくりの目標

まちづくりの基本理念

**みんなで創る
歴史とともにくらす
あずましの里 くろいし**

本市の財産は、中心部の歴史・文化資源と市の8割を占める山々と山裾に広がるりんご畑や、浅瀬石川の清流、広大で豊かな田園風景にあります。城下町である本市は、まちなかの魅力を高めつつ、周辺地域と共生したまちづくりが進められており、素晴らしい歴史を守り引き継いでいくことこそが重要な課題となります。

今後とも、豊かで明るく活力に満ちた、住みよいまちづくりを基本に、歴史と文化を大切に、自然の恵みを受けながら心豊かに安心してくらす地域社会の実現を目指していきます。また、住民にとっての真の住みよさや豊かさを再確認し、住んでいる人が心から満足できるようなまちを、行政と住民との協働により育てていくことを目指します。

まちづくりの目標

基本理念実現のため、5つの目標を設定しました。

歴史

～こみせ～を活かしたくらし

本市は、江戸時代から伝わる「こみせ」をはじめ数多くの歴史的資源に恵まれています。これらは重要な要素であるとともに次世代に引き継ぐべきまちの貴重な財産であり、歴史的な街並みを活かしたにぎわいの再生が必要です。

また、点在する資源の連携を図り、歴史・文化そして自然が、うまく調和した黒石固有の魅力ある都市を目指します。

自然

と共生するくらし

八甲田連峰や津軽平野の景観、清らかな水が流れる浅瀬石川等の豊かな自然に恵まれており、これらを活かしたまちづくりが必要です。

このため、良好な自然環境を保全するとともに、交流、体験を通じて自然と向き合い、豊かな自然を身近に感じられる都市を目指します。

まち

で安心・快適なくらし

誰もが安心しておだやかにくらし続けられるまちづくりが必要です。

このため、市街地や既存集落における生活基盤の整備を推進し、居住環境の向上を図りながら、市民の目線に立ったやさしいまちづくりを進め、安心・快適な生活環境を創り出します。また、農業施策の展開や地場産業の育成・振興、新たな産業の創出に対して支援を行い、定住できる活力に満ちた豊かな都市を目指します。

人

と人との繋がりでやすらぐくらし

昔から受け継がれてきた祭りといった伝統文化を、後世に受け継いでいくことが必要です。

このため、一人一人が本市の看板・顔という意識を持ち、愛着の持てるまちづくりを行えるよう、活動を支援するしくみづくりを行い、良質なコミュニティの維持を目指します。

産業

で安定生活を過ごすくらし

本市の主要な産物である米とりんごを活用し、観光との連携やグリーンツーリズムに取組み、農業の魅力を高める必要があります。

このため、各産業との連携を進めることでそれぞれが成長できる環境を作り、生産品の付加価値化・ブランド化といった知名度を高める仕掛けや情報戦略を推進します。

将来都市構造

本市が将来、目指すべき都市構造について、歴史と大地の恵みを基盤とし、暮らしの中での「やすらぎ」「拠点」「軸」の3つの視点から表現する。

■暮らしの基盤となる自然環境を位置づけます！

- 山辺の空間：山が広がっている空間を示します。
- 平野の空間：田畑が広がっている空間を示します。
- 水の踊り場：水を感じられる空間を示します。
- 大地の癒し：温泉など大地に恵まれた場所を示します。

■歴史と産業を活かした暮らしの拠点を位置づけます！

- 中心交流地：黒石市の最もにぎやかな地域を示します。
- 産業拠点：中心交流地以外に産業が盛んな地域を示します。
- アップルライン：りんご園が盛んな地域を示します。

■地域間の暮らしを結ぶ軸を位置づけます！

- 川辺の軸：黒石市を流れる代表的な河川、浅瀬石川を示します。
- 広域を結ぶ軸：東北自動車道（黒石IC）と国道102号を示します。
- 地域を結ぶ軸：国道394号と主要地方道大鰐浪岡線を示します。

暮らしの交流を促進するゾーンを形成します！

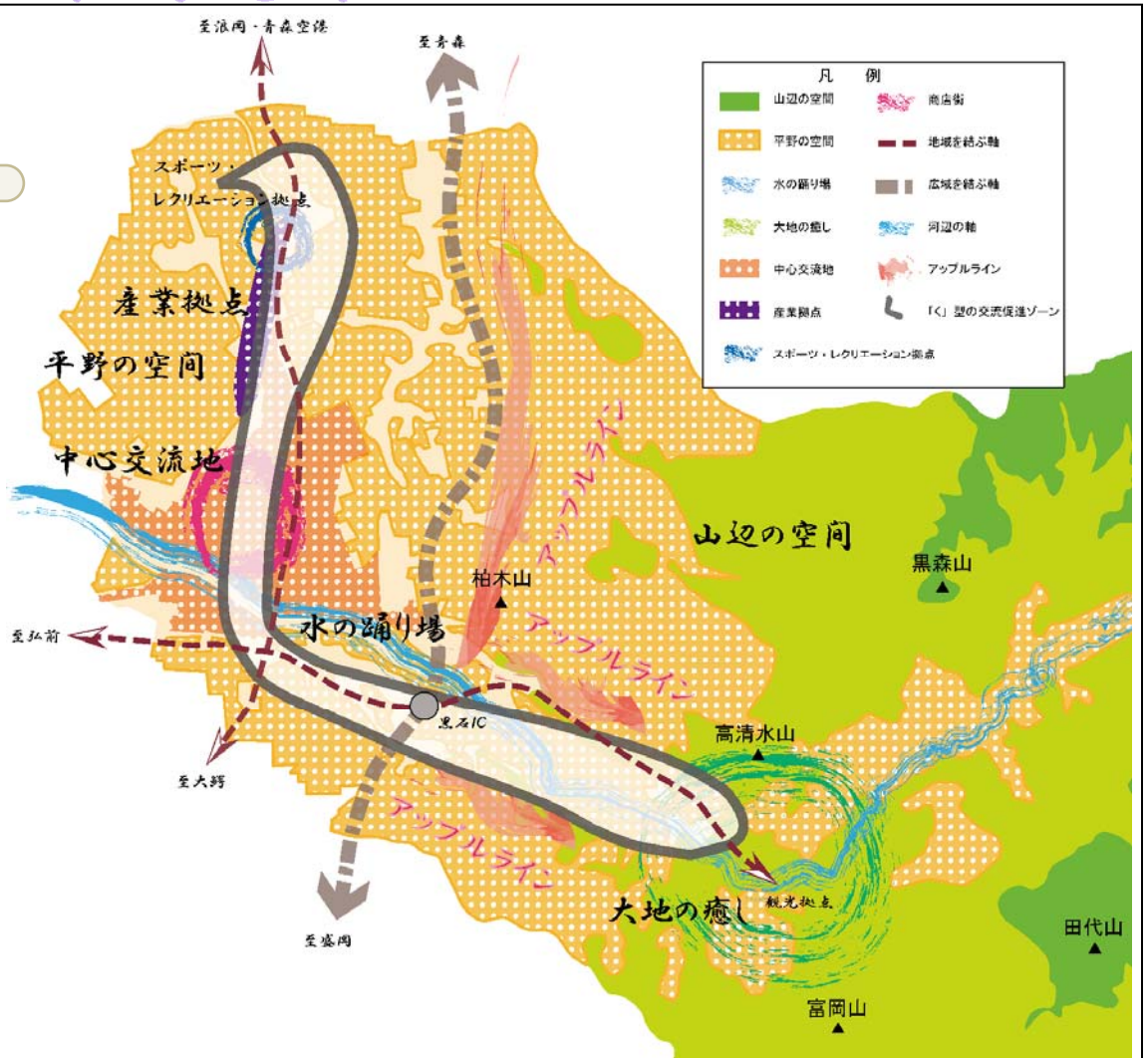
○「く」型の交流促進ゾーン：黒石市のまちの形成をイメージして交流を促進していくエリアを示します。

黒石市将来構造図

本市の市街地形状は、主に国道102号と（主）大鰐浪岡線に沿って形成されており、概ね『く』の字となっています。

そのため、本計画においては本市の市街地を「『く』型の交流促進ゾーン」として、黒石の将来の核となるエリアと位置づけることとしました。

このエリアは、暮らしの拠点であるとともに地域間の暮らしを結ぶ軸でもあります。



3. まちづくりの方針(全体構想)

土地利用の方針 — 各地域の特色を活かして、良好な定住環境や産業振興の促進を図っていきます。

①自然環境保全ゾーン

将来とも自然環境保全ゾーンとして保全を図ります。
特に、中野もみじ山や「黒石市ふるさと自然のみち」は、森林の魅力や快適性をより実感できるゾーンとして活用を図ります。



②高生産農業ゾーン

地元農業を支えるとともに、まちの風景を印象づける大きな要素として積極的に保全します。また、農業施策と連携しながら、継続して農業を続けていくことのできる体制づくりを支援します。



③快適集落ゾーン

集落部は、現在の定住環境の維持、保全を基本としながら、地域特性に応じた住環境の調整と誘導を図ります。一方、古くから既存集落が形成されている温泉地周辺については、防災性の向上に努めます。



④多機能集積ゾーン

用途地域内においては、自然環境との調和を図り、地域に活力を与える都市機能の形成を図ります。

●住宅地

既存市街地においては、景観や街並みに配慮した快適な住環境の形成を図ります。

計画的に整備された住宅地や、浅瀬石川右岸の低層住宅地等については、現在の良好な住環境を保全していきます。

●商業地

市街地中心部の商業地については、魅力ある商業施設の誘導、駐車場の配置やバリアフリーの歩道整備など、買い物しやすい環境整備を図ります。

また、こみせを中心としたエリアでは観光分野との連携を図り、歴史的街並みを活かしたイベント開催や個性豊かな地場製品の販売を推進します。



⑤産業振興活力ゾーン

工業地には、地域に経済効果や雇用創出をもたらす工場および業務施設の誘致を積極的に進めます。

地場産品を主とする工業施設では、地元農家や研究機関との連携を推進します。



環境共生・景観形成の方針

積極的に豊かな自然と景観を守り伝えます。

- 1) 地域の魅力を高める景観づくり
- 2) 自然の恵みの保全と活用
 - 山並み景観の保全と活用
 - 田園の環境・景観の保全と活用
 - 水辺空間の保全と活用

道路網整備の方針

周辺地域と結ぶ道路網を見直し、地域内道路の整備によりネットワークの形成を図ります。

- 1) 広域幹線道路：周辺地域と結ぶ道路整備
- 2) 地域幹線道路：まちの骨格となる道路整備
- 3) 地域交流道路：地域内の交流を進める道路整備
- 4) 地域らしさを感じるみちづくり

公共公益施設整備の方針

施設内容の充実と計画的な配置とともに、広域的な利用や連携を考えます。

- 1) 広域的な利用や連携促進
- 2) 少子高齢化社会を支援する施設の充実
：福祉施設関係
- 3) 地域の教育や活動の充実
：教育施設、コミュニティ施設
- 4) まちの文化や歴史を伝える交流施設の充実
：歴史・文化施設
- 5) 供給処理施設等の整備

住みよい住宅・住環境整備の方針

地域の魅力を引き出す、住宅・住環境整備を進めます。

- 1) 快適なゆとりある住まいづくり
- 2) まちづくりと連携した計画的な公共住宅の整備

防災まちづくりの方針

安全・安心なまちを目指します。

- 1) 豊かな自然の恵みと厳しさに配慮した安全・安心なまち
- 2) 災害に強い都市整備の促進
- 3) 地域防災拠点の整備・充実
- 4) だれにでもやさしい安全・安心なまち

緑と水辺のネットワークの方針

自然の恵みでまちの暮らし全体をつなげていきます。

- 1) 緑とせせらぎのにぎわいづくり
 - まちなかのにぎわい広場づくり
 - 地域の環境を高める公園づくり
- 2) 緑とせせらぎのネットワークづくり

交通体系整備の方針

全ての人にとって利便性の高い公共交通網の形成に努めます。

- 1) 広域的、総合的な交通ネットワークの構築
- 2) 身近な足としての公共交通機関の確立
- 3) 交通拠点の環境向上

にぎわいあるまちづくりの方針

歴史的資源を活かした、訪れたい、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

- 1) にぎわいのあるまちづくり
 - 中心市街地の活性化
 - 観光レクリエーション資源のネットワーク化
 - こみせを活かしたまちづくり



4. 地区まちづくりの方針(地区別構想)

地区別構想では、身近な地区ごとのまちづくりの方向を示します。都市計画マスタープランが市民にとってより身近に感じられるよう、ワークショップ形式で地区住民が参加して意見をいただきながら、検討を行いました。

2009年	
7月11日	第1回WS まちづくりを知ろう!…オリエンテーション&ワークショップ
9月26日	第2回WS 地域の宝と問題を語ろう!…まち歩き
10月30日	第3回WS できることを考えよう…グループディスカッション
12月2日	第4回WS これがみんなでつくるまち!…成果発表



東・中部・西部地区



浅瀬石・追子野木地区



山形地区



牡丹平・北・上十川地区

地区別まちづくりの方針

◎牡丹平・北・上十川・六郷地区まちづくりのテーマ
『獅子踊る、伝統芸能の里』
◎牡丹平・北・上十川・六郷地区まちづくりの基本方針
・青森市方面からの玄関口として良好な田園と調和するまちづくりを進めます。
・豊かな自然環境と田園があると共に歴史のある寺院や伝統芸能(獅子踊り)などが盛んな地区でもあることから、これらの豊かな自然・歴史・文化を大切にしながら風格が漂うまちづくりをめざします。



◎山形地区まちづくりのテーマ
『山と川といで湯が彩るこけしの里』
◎山形地区まちづくりの基本方針
・地区の宝である森林や河川などの豊かな自然環境を維持・保全することを基本とします。
・地区住民の生活を支える利便性の向上を図り、生活環境の充実に努めるとともに、観光面でも力を入れ、良好な自然・歴史的環境と調和する居住空間を整備します。



◎東・中部・西部地区まちづくりのテーマ
『どさ、そこさ 気軽に行ける、こみせのあるまち』
◎東・中部・西部地区まちづくりの基本方針
・江戸時代以来継承されてきた文化・伝統は黒石市の貴重な財産であり、これらの維持・保存に努めるとともに、市民の生活と観光が融合したまちづくりをめざします。
・独自の魅力を持つこみせを活用し、街並み整備と観光資源のネットワーク化の推進を図ります。
・商業・業務機能に加え、文化・交流・観光レクリエーションなどの機能の充実を図り、中心市街地の活性化に取り組みます。また、にぎわいと魅力のあるまちづくりをめざします。

◎浅瀬石・追子野木まちづくりのテーマ
『川のある風景を活かしたまち』
◎まちづくりの基本方針
・豊かな自然や河川、貴重な歴史遺産、生活を支える食のそれぞれの魅力を活かした魅力あるまちづくりを進めます。
・中心市街地などと連携し、観光レクリエーション機能の充実を図りつつ、日常生活に密着した機能を誘導し、住商工のバランスのとれた土地利用を誘導します。

5. まちづくりの実現化方策

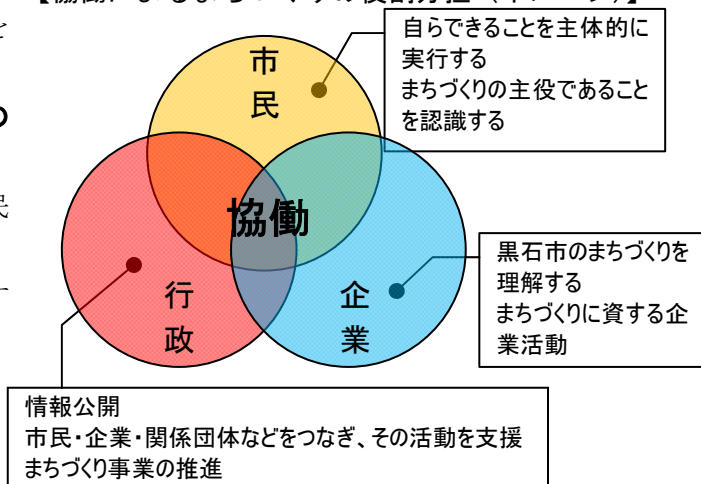
—市民、行政、民間事業者の協働による「まち育て」

「みんなで創る」まちづくりの推進

「みんなで創る」まちづくりを推進するため、

- 情報提供や公園や道路などの身近な生活空間づくりを協働で行う**まちづくりの場づくり**を実践します。
- まちづくりに貢献する活動に対して**まちづくり活動の支援**に取り組みます。
- 地域のリーダーとなって、まちづくりを推進する市民など、**まちづくりの担い手となる人材を育成**します。
- 学校教育の場でまちづくりに関する学習の場を提供するなど、**学校教育、地域や家庭との連携**を推進します。

【協働によるまちづくりの役割分担（イメージ）】



優先施策

都市計画マスタープランで検討した施策の中で、市民の要望や緊急性、重要性の高い施策を「優先施策」として設定しました。

- 施策①**・・・都市的土地利用の適正なコントロールのための「用途地域の見直し」
- 施策②**・・・長期未着手の「都市計画道路の見直し」
- 施策③**・・・「中心市街地の活性化」
- 施策④**・・・地域の魅力を高める「景観づくり」
- 施策⑤**・・・耐震改修促進計画に基づく「公共施設等の調査・改修」等の実施



黒石市都市計画マスタープラン 概要版
平成 22 年 4 月

黒 石 市

〒036-0396 青森県黒石市市ノ町 11 番地 1 号
TEL:0172-52-2111 FAX:0172-52-6191

ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/kuroishi/>